

●高科技(含智慧型手持裝置、雲端運算及 WiMAX)

以往我國高科技產業集中於資訊硬體製造，但資訊軟體業規模相對較小，以致軟體無法相互配合發展。為求產業轉型升級，政府積極推動「愛台 12 建設」之「智慧台灣」及四大智慧型產業之「雲端運算產業發展方案」等 ICT 相關計畫，期結合民間業者力量，建構資訊基礎設施與無線寬頻環境，並朝平板電腦加智慧型手機、觸控面板、WiMAX 與雲端運算等未來科技主軸發展。

目前新興市場寬頻網路建設需求日高，全球智慧型手機出貨量估計將於 2012 年突破 3.5 億支，而雲端運算產業更是全球競逐「商機大到不可想像」的新希望，再次展現未來高科技發展的機會與前景。而我國在 ICT 相關產業已有厚實基礎，例如台灣智慧型手機產業鏈完整，已掌握生產製造與全球運籌優勢；同時台灣已具 WiMAX 微型基地台研發與製造，結合 ICT 產業能量，發展前景相當樂觀；至於在雲端產業鏈部分，台灣一向為雲端資料中心元件生產基地，掌握雲端系統架構、大型系統管理軟體、資料中心作業系統等技術，如再深入研發，將可發展出平價優質的資料中心系統。

新世代高科技產業將重新塑造資訊產業價值鏈新樣貌，開啟以軟體及服務為主的競爭時代。為掌握商機，國內相關業者亦大幅邁進，例如中華電信將在未來投入超過千億元，擴展寬頻網路；工研院、資策會、中華電信、電電公會與資訊軟體協會組成台灣雲端運算產業聯盟，以凝聚業者共識，推動國內雲端運算應用服務。在政府與民間攜手合作下，將由提高軟硬體附加價值及服務品質、帶動投資、加速產業轉型、加強基礎研究與產業科技研發等層面著手，開創下一波資通訊商機，並進而提升我國競爭力，建構下一世代明星產業。



●精密機械

精密機械は全体の製造業の基礎産業であり、精密機械工業の推進によって、他の産業の競争力を高めることができるだけでなく、さらに全体の工業の発展を加速させることも出来ますし、全体の産業構造を調整することが出来ます。台湾の精密機械産業の実力はとても強く、その中で主要的な国際競争優勢の一つとしては、沢山の高等教育人材が居て、優秀な研究開発能力を持っています。それに国内では、関連する研究機関と部署がたくさんあります。例えば、工業研究所「機械とシステム研究所」、「精密機械研究発展センタ」等、精密技術の新技术の開発と知識サービスの提供を持続しています。また千以上の特許と業界との協力によって、新しい事業と新しいビジネスチャンスを生出し、産業の高い付加価値化にかなりの助力を提供します。

それ以外に台湾の電子情報の基礎建設は比較的強い勢いで、ICT 産業のもとで、国内精密機械産業は知恵化、精微化、緑能化と高い付加価値の方向へ向かって発展し、その中の重点産業は精密工具機とキーポイントとなる機械のモジュール、光電と半導体を製造する工程の設備、マイクロとナノ機械技術の応用、ハイテクの環境保護設備、エネルギー設備、及び医療保険儀器/設備などが含まれています。

国際の市場競争は、毎日に熾烈な競争する環境のもとで置かれているのですが、台湾の精密機械工業は研究開発と付加価値を高めることによって、全世界の経済貿易の成長契機と市場の販路開拓の機会を十分に把握し、絶えず産業の栄景を創りだしています。例えば今年（2011 年）から、景気がだんだん良くなったまま、新興市場で固定のオーダーを取ることができるようになりました。兩岸経済協力枠組協定(ECFA)を締結した後、機械産業の輸出の成長を注文し、及び半導体、面板のメーカーの生産設備などが拡大した原因の影響を受けて、国内では、沢山の精密機械メーカーからのオーダーが突然大幅に増え、2011 年 1 から 5 月まで機械設備業の生産が前年と同じ時期と比べると 22%増えていて、しかも上前期には、機械輸出が大幅に 33,8%増加していました。



●精密機械

精密機械是整體製造業的基礎產業，透過精密機械工業的推動，不但可增強其他產業之競爭力，更可加速整體工業之發展，達成全面性的產業結構調整。台灣在精密機械產業方面實力雄厚，其中主要的國際競爭優勢之一，即為擁有眾多高等教育人才、具備優異的研發能力；且國內多個相關研究單位，如工研院「機械與系統研究所」、「精密機械研究發展中心」等，均持續投入精密技術創新、提供知識服務，並透過數以千計的專利與業界合作，衍生新事業、新商機，協助產業高值化。

此外，台灣電子資訊基礎建設相對強勢，在 ICT 產業的帶動下，國內精密機械產業正朝向智慧化、精微化、綠能化和高附加價值的方向發展，其中的重點產業包括：精密工具機及關鍵機械零組件、光電與半導體製程設備、微／奈米機械技術應用、高科技環保設備、能源設備，及醫療保健儀器／設備等。

在國際市場競爭日趨激烈的環境下，台灣精密機械工業藉由研發創新與提高附加價值，充分掌握全球經貿成長契機與市場拓銷機會，不斷創造產業榮景。例如今(2011)年以來，由於景氣持續增溫、新興市場接單續呈穩定；加以兩岸簽署經濟合作架構協議(ECFA)後，挹注機械產業出口成長；以及半導體、面板廠商擴充生產設備等因素影響，國內不少精密機械廠商訂單暴增，2011年1至5月機械設備業生產較上年同期增加22%，且上半年機械出口大幅增加33.8%。



●新しい産業の資金を調達するプラットフォームを創りだす

台湾は東アジア経済圏の中核のところに位置していて、兩岸関係の原因があるために、この方面では優位が完全に発揮できなくて、ECFAを締結し、有効性になった後、兩岸の物流、金融の流通と人の往来の制限がだんだん緩和してきて、わが国は、すばらしい地理的な立地条件を充分利用することが出来ますし、台湾はアジア太平洋地区の最も重要な金融商圏の地域の一つとして発展することが出来ます。

香港とシンガポールなどのアジア金融センターと比べれば、台湾は製造業方面の発展はさらに成熟していて、特に国内のハイテク産業はすでに全世界のサプライチェーンの重要な一環となっており、関連産業に提供する融資の金融サービス方面に対してすでに形成されたベンチャー投資、興櫃、上櫃で発売することなど完備されている体系まで形成されました。

過去の台湾の資本市場は情報科学技術産業の発展にしたがって、必要な資本金の導入を提供し、今は、わが国は全世界科学技術産業をキーポイントと置き、資本市場は、この競争力を再利用し、積極的に国内外のハイテク会社および事業を革新する会社は、台湾で株式市場に上場すること、および資金の金融システムによる調達などを推進し、ハイテクおよび新規事業の資金を調達できるプラットフォームが出来るように発展させます。

現在の兩岸の交流は日に日に密接で、国内での創新、投資と租税の環境の改善措置を実施し続けて、我が国の資本市場は、かつてない良いきっかけを把握するべきで、持続的に市場の体質を改善し、科学技術の産業を大勢集まるようにできる経済的な優位性を高めさせます。国内外の企業は台湾の株式市場に上場させて、資金を調達することができるように励まされて、一層の発展は期待できるハイテク、および創新産業の資金を調達するプラットフォームになります。



●創新產業籌資平台

台灣位於東亞經濟圈之樞紐位置，過去由於兩岸關係因素，致使台灣在此方面之優勢無法完全發揮，在 ECFA 完成簽署生效後，未來兩岸物流、金流及人員往來之限制逐漸放寬，應充分利用我國優越之地理位置條件，發展台灣成為亞太地區重要的金融重鎮之一。

與香港及新加坡等亞太金融中心相較，台灣在製造業方面之發展更加成熟，尤其是國內高科技產業已成為全球供應鏈中重要的一環，對相關產業提供籌資之金融服務方面，也已經形成由創投、興櫃、上櫃乃至於上市之完整體系。

過去台灣資本市場為因應資訊科技產業之發展，提供了必要的資金挹注，如今我國已在全球科技產業鏈居關鍵地位，資本市場應可再利用該競爭優勢，積極推動國內外高科技及創新事業在台上市(櫃)及籌資，發展台灣成為高科技及創新事業籌資平台。

當前兩岸交流日趨密切，國內創新、投資及賦稅環境持續改善，我國資本市場應掌握此等前所未有之契機，持續改善市場體質，擴大科技產業群聚優勢，鼓勵國內外企業來台上市、籌資，進一步發展成為高科技及創新產業籌資平台，藉以鞏固我資本市場於亞太地區之地位，並促進國內金融服務業與相關產業之繁榮發展。



「台湾投資」—誘致計画

計 画	担当機関	
	国	地方
1. バイオテクノロジーと国際医療		
1-1 新竹バイオメテック園区誘致計画	行政院国家科学委員会	新竹県庁
1-2 台湾グリーン・バイオパークにおけるアグリバイオ産業クラスター構築	行政院農業委員会	
1-3 金門県国際医療園区		金門県庁
2. 文化創意とデジタルコンテンツ		
2-1 デジタルコンテンツ産業発展計画	經濟部	
2-2 映画産業発展の旗艦計画—国産映画への投資誘致計画	行政院新聞局	
2-3 台湾漫画夢工場	行政院新聞局	新竹県庁
3. グリーンエネルギーとインテリジェンス電気自動車		
3-1 太陽電池産業推進計画	經濟部	
3-2 インテリジェンス電気自動車先導運行計画	經濟部	

「投資台灣」—招商計畫

計 畫	主辦機關	
	中央政府	地方政府
1. 生技及國際醫療		
1-1 新竹生物醫學園區招商計畫	行政院國家科學委員會	新竹縣政府
1-2 屏東農業生物科技園區—以台灣優勢建構農業生技產業聚落	行政院農業委員會	
1-3 金門縣國際醫療園區		金門縣政府
2. 文創及數位內容		
2-1 數位內容旗艦計畫	經濟部	
2-2 電影產業發展旗艦計畫-國產電影片招商計畫	行政院新聞局	
2-3 台灣漫畫夢工場	行政院新聞局	新竹縣政府
3. 綠色能源及智慧電動車		
3-1 太陽電池產業推動計畫	經濟部	
3-2 智慧電動車先導運行計畫	經濟部	

計 画	担当機関	
	国	地方
4. 都市再開発と土地開発		
4-1 基隆駅と西二西三埠頭再開発計画 (再開発単元一)	内政省	基隆市庁
4-2 台湾鉄道高雄港駅再開発計画	内政省	高雄市庁
4-3 台北市南港操車場再開発計画	内政省 交通省	台北市庁
4-4 台南運河地区再開発計画	内政省	台南市庁
4-5 台北市信義区 A15/A18/A20 及び A25 土地開発		台北市庁
4-6 新北市淡水区芸術マーケット及びデザインホテルの建設と運営		新北市庁
4-7 林口中商 36 公有土地の公開入札		新北市庁
4-8 宜蘭市蘭城の星再生開発計画		宜蘭県庁
4-9 新竹県竹北市県華段駅用地 BOT 建設運営		新竹県庁
4-10 新竹県竹北市停八駐車場 BOT 建設運営		新竹県庁
4-11 台湾知識経済旗艦園区特定区計画		新竹県庁
4-12 澎湖青湾サボテン公園の建設、整備及び運営の民間参与計画		澎湖県庁
5. 観光と深層海水		
5-1 宜蘭県員山公園温泉会館 BOT 事業		宜蘭県庁
5-2 清水地区温泉開発及び観光・レジャー利用 BOT 事業		宜蘭県庁
5-3 台東県海洋深層水に関する産業発展計画		台東県庁
5-4 台東県運動観光及び農業レジャー産業		台東県庁

計 畫	主辦機關	
	中央政府	地方政府
4. 都市更新及土地開發		
4-1 基隆火車站及西二西三碼頭都市更新計畫	內政部	基隆市政府
4-2 臺鐵高雄港站都市更新計畫	內政部	高雄市政府
4-3 臺北市南港調車場都市更新計畫	內政部 交通部	臺北市政府
4-4 臺南市運河星鑽都市更新計畫	內政部	臺南市政府
4-5 臺北市信義區 A15/A18/A20 及 A25 土地開發		臺北市政府
4-6 淡水藝術市集暨設計旅館招商		新北市政府
4-7 林口中商 36 公有土地招商		新北市政府
4-8 宜蘭市蘭城之星更新開發計畫		宜蘭縣政府
4-9 新竹縣竹北市縣華段車站用地 BOT 興建營運		新竹縣政府
4-10 新竹縣竹北市停八停車場 BOT 興建營運		新竹縣政府
4-11 臺灣知識經濟旗艦園區		新竹縣政府
4-12 民間參與澎湖青灣仙人掌公園整建興建及營運		澎湖縣政府
5. 觀光與深層海水		
5-1 宜蘭縣員山公園溫泉會館 BOT		宜蘭縣政府
5-2 清水地區溫泉開發及觀光遊憩利用 BOT		宜蘭縣政府
5-3 臺東縣深層海水相關產業發展計畫		台東縣政府
5-4 臺東縣運動觀光及農業休閒產業		台東縣政府

誘致計画立地

